第16回IDF講習会　コース別概要

通常コース

通常コースは、全8ース（参会5、オンライン3）ございます。

日程	9/3（木）、4（金）、9（水）、16（水）
受講料	IDF会員（個人/団体）¥5,000、一般¥10,000（IDF会員以外の官公庁の方は一般価格となります）
実施方法	参会およびオンライン（Microsoft Teams）
申込方法	講習会Webサイトの「お申込みフォーム」よりお申し込み下さい。 https://digitalforensic.jp/lecture16-2026
申込締切	2026年8月24日（月）、お支払期限　2026年8月27日（木）*後払いの官公庁の方を除く。

Aコース	自己完結型 脅威インテリジェンス（CTI）基盤の設計思想とOSS公開への道 ― ローカル生成AIで"漏らさない・止めない"自動分析をつくる ―		IDF主催①（名和　利男氏）	
		レベル	実施形態	定員
日時	9/3（木）午前	全レベル	参会　東京　4F	60名
前提知識等	- 特別な前提知識やプログラミング経験は不要です（全レベル対象）。 - セキュリティ／インシデント対応の基本用語（脅威情報、IoC など）に触れた経験があると、理解がより深まります。 -「生成AIを業務へ取り入れたいが、機密の扱いが不安」という課題感をお持ちの方に特に有用です。 - 体験ワークはパソコン操作を必須としません（筆記具のみで参加可能）。			
概要	本講習は、機密情報を外部クラウドへ送らず自組織内で完結させる「脅威インテリジェンス（CTI）自動化基盤」を題材に、その設計思想と実装上の勘所を、OSS公開へ至る過程とあわせて解説します。プログラミング経験は前提とせず、全レベルの方が「自前で・安全に・止めずに」生成AIを業務へ組み込む考え方を持ち帰れる構成です。 1. なぜ「自己完結」か ― フォレンジック／インシデント対応で扱う機微情報を"外に出さない"という出発点と、クラウドLLM依存のリスク、LAN内ローカル生成AI構成という選択 2. 自動パイプラインの全体像 ― 国際的なRSS／CTIフィードの収集 → 生成AIによる要約・分析 → 構造化レポート（Markdown／HTML／JSON／STIX）化 → 配信までの流れ 3. 最大のリスクは"silent failure" ―「正常終了なのに中身が空」をどう検知するか。多層ヘルスチェックによる信頼性設計の勘所 4. "止めない"ための現実的な落とし穴 ― OS常駐スケジューラ、ファイアウォールによる無言の通信遮断、パス不整合など、運用で得た教訓 5. OSS公開への道 ― エンジン本体と顧客固有データの分離、抽象化・匿名化の設計、公開してよい情報の線引き 6.【体験ワーク】判別力のある「プロファイル」設計 ― 汎用語に頼らず、対象セクター固有の語彙で"拾うべき脅威情報"を選別するキーワード設計を、匿名化済みの題材で手を動かして体験			
その他	- 持参品：体験ワーク用に筆記具をご用意ください。手元で入力したい方はノートPC／タブレットがあると便利です（会場でのWi-Fi提供はありませんので各自ご準備ください）。 - 体験ワークで扱う題材は、すべて匿名化・サニタイズ済みのサンプルです。実在の顧客・実事案の情報は一切扱いません。 - 機密保持および事例守秘の観点から、講習中の画面撮影・録音はご遠慮ください。			
キーワード	生成AI 人工知能 マルウエア その他 ネットワークフォレンジック Linux 脅威インテリジェンス（CTI） ローカルLLM／オンプレミス生成AI 自己完結型セキュリティ基盤 セキュアな生成AI活用 OSS公開・匿名化／抽象化設計 STIX／構造化レポート RSS収集自動化 プロファイル（キーワード）設計			

Bコース	YamatoSecurityオープンソースツールを活用したWindowsイベントログ解析		IDF主催②（高橋　福助氏）	
		レベル	実施形態	定員
日時	9/4（金）午前	初級	参会　東京　4F	60名
前提知識等	どなたでも参加出来ます			
概要	本コースでは、大和セキュリティが開発しているオープンソースツールを活用した実践的なWindowsイベントログ解析/設定改善手法を解説します。 以下の内容を通じて、フォレンジックやインシデント対応に役立つWindowsイベントログ解析/設定スキルを学びます。 ・Windowsイベントログ基礎 ・Windowsイベントログ解析における課題 ・Hayabusa/Takajoを活用したWindowsイベントログ解析 ・WELA/EventLog-Baseline-Guideを活用したWindowsイベントログ設定の改善			
その他	座学 + 資料 + 講師デモを中心とした内容です			
キーワード	Windows ファストフォレンジック、Windowsイベントログ解析			

Dコース	デジタル・フォレンジック技術（入門）東京教室		アイフォレンセ日本データ復旧研究所①	
		レベル	実施形態	定員
日時	9/4（金）午後	全レベル	参会　東京　4F	60名
前提知識等	特になし。ただし、データ復旧会社の方はご遠慮ください。			
概要	デジタル・フォレンジック調査で「デジタル証拠が見つかるしくみ」を、基礎から学びます。また、講師（下垣内太）の経験に基づいた、実践で使える法律家向けのテクニックにも触れます。			
その他	Dコース／Iコース／Mコースは開催場所・方法が異なるだけで同一の内容となります。			
キーワード	デジタル証拠 基礎 初級 入門 初心者 法律家 弁護士			

Eコース	最新AI技術と高度なリンク分析による、複雑な金融犯罪、組織型犯罪、不正調査での大規模データに潜む関係性の可視化手法をご紹介		Nuix Japan	
		レベル	実施形態	定員
日時	9/4（金）午前	全レベル	参会　東京　3F	60名
前提知識等	デジタルフォレンジック技術を活用し、法執行調査、規制調査、不正調査の実務を行う組織の管理者および担当者を対象としています。			
概要	法執行調査や不正調査では、PC、サーバー、モバイル、クラウド等さまざまなデータを調査解析する必要があり、データ量も急速に増加しています。Nuixでは、最新のAI技術や自動化機能を活用した調査解析プラットフォーム「NEO Investigations」により、効率よく大規模データを解析する手法についてご紹介します。			
その他	本セミナーへのご参加は、調査実務を行う組織の管理者および担当者に限らせていただきます。			
キーワード	生成AI 人工知能 ファイルフォレンジック モバイル端末 Windows リンク分析 ワークフローの自動化			

Iコース	デジタル・フォレンジック技術（入門）大阪教室		アイフォレンセ日本データ復旧研究所②	
		レベル	実施形態	定員
日時	9/9（水）午後	全レベル	参会　大阪	20名
前提知識等	特になし。ただし、データ復旧会社の方はご遠慮ください。			
概要	デジタル・フォレンジック調査で「デジタル証拠が見つかるしくみ」を、基礎から学びます。また、講師（下垣内太）の経験に基づいた、実践で使える法律家向けのテクニックにも触れます。			
その他	Dコース／Iコース／Mコースは開催場所・方法が異なるだけで同一の内容となります。			
会場	大阪駅前第４ビル B1F 展示会場・会議室　大阪市北区梅田1丁目11-4			
キーワード	デジタル証拠 基礎 初級 入門 初心者 法律家 弁護士			

Kコース	X-Ways Forensic		フューチャーセキュアウェイブ株式会社	
		レベル	実施形態	定員
日時	9/4（金）午前	中級	オンライン（Teams）	60名
前提知識等	Windowsのフォレンジック基礎知識			
概要	X-Ways Forensicの紹介と、本製品と使用したWindowsマシンのフォレンジック調査要領を説明いたします。			
その他				
キーワード	Windows ファイルフォレンジック マルウエア その他			

Lコース	画像解析フォレンジックの動画復元と画像鮮明化の解説		AIデータ株式会社	
		レベル	実施形態	定員
日時	9/3（木）午後	初級	オンライン（Teams）	60名
前提知識等	フォレンジックの基礎知識			
概要	防犯カメラ、ドライブレコーダーで撮られた動画データのフレーム復元技術について、ファイル復元との違いを含め説明致します。また新製品の画像鮮明化ソフトについて、デモを含めた紹介を致します。			
その他				
キーワード	画像 動画復元 画像解析 ドライブレコーダー 監視カメラ 鮮明化 復元 画像フォレンジック			

Mコース	デジタル・フォレンジック技術（入門）オンライン		アイフォレンセ日本データ復旧研究所③	
		レベル	実施形態	定員
日時	9/16（水）午後	全レベル	オンライン（Teams）	60名
前提知識等	特になし。ただし、データ復旧会社の方はご遠慮ください。			
概要	デジタル・フォレンジック調査で「デジタル証拠が見つかるしくみ」を、基礎から学びます。また、講師（下垣内太）の経験に基づいた、実践で使える法律家向けのテクニックにも触れます。			
その他	Dコース／Iコース／Mコースは開催場所・方法が異なるだけで同一の内容となります。			
キーワード	デジタル証拠 基礎 初級 入門 初心者 法律家 弁護士			

■お問合せ　特定非営利活動法人デジタル・フォレンジック研究会　事務局　Tel：03-6431-8200
E-mail：office@digitalforensic.jp